Theory and Method of Moral Education

Syllabus Number 9D305
Teacher Licence
Subjects 2 credit
MURAMATSU, TOMO

No localized syllabus found / Showing original

1. Course Description

この授業では、道徳教育の歴史・理論・方法に関する基礎的知識を習得し、道徳性および道徳教育について多角的に考察するための視点を獲得するとともに、教員として道徳教育を実践するために必要な技能を身につけることを目指します。

なお、授業の形式としては、講義だけではなく、リアクションペーパーやペアワーク、グループディスカッションなどの学習活動を含む予定です。

2. Course Objectives

(1)道徳教育の意義や理論について理解することができる。
(2)道徳教育の歴史や今日的課題を理解し、これからの道徳教育のあり方について考えることができる。
(3)学校における道徳教育の指導内容や指導方法を理解し、それを踏まえた授業づくりができる。

3. Grading Policy

リアクションペーパー(15%)、指導案・模擬授業・振り返り(35%)、試験(50%)をもとに総合的に評価します。

リアクションペーパーについては、次の回で全体に対するフィードバックを行います。また、個人で作成する指導案や振り返りについては、コメントをつけて返却します。試験については、授業内で模範解答を示すとともに、解説を行います。

4. Textbook and Reference

Textbook
毎回、レジュメと資料をLMSに掲載します。
Reference
文部科学省『中学校学習指導要領解説 特別の教科道徳編』(平成29年告示)
井藤元編 『ワークで学ぶ道徳教育 増補改訂版』 ナカニシヤ出版、2020年 (ISBN: 978-4779514487)
貝塚茂樹・関根明伸編著 『道徳教育を学ぶための重要項目100』 教育出版、2016年 (ISBN: 978-4316804323)

5. Requirements(Assignments)

・毎回、教材(レジュメと資料)と事前課題をLMSに掲載します。掲載された教材を使って予習をするとともに、事前課題に取り組んだうえで授業に臨んでください。(1時間)
・授業後は、学習した内容をもとにリアクションペーパーを作成し、期限内に提出してください。その際、教材を見返し、不明点などを残さないように復習しておくこと。(1時間)
・指導案の作成や模擬授業の実施にあたっては、学習指導要領の読み込みや教材研究など、十分な準備が必要です。(合計3時間程度)

6. Note

・受講生の関心や理解度に応じて、授業内容の順序などに変更を加えることがあります。
・教材や課題などをLMSに掲載します。

7. Schedule

[1] イントロダクション
[2] 道徳教育の現状と課題
[3] 日本における道徳教育の歴史① 戦前
[4] 日本における道徳教育の歴史② 戦後
[5] 道徳教育の内容と方法① 教育課程上の位置づけと目標
[6] 道徳教育の内容と方法② 指導内容および指導方法と評価
[7] 道徳性に関する理論① 倫理学における道徳性理論
[8] 道徳性に関する理論② 心理学における道徳性理論
[9] 道徳教育における教師の役割① 道徳教育の「限界」
[10] 道徳教育における教師の役割② 考え、議論する道徳
[11] 道徳教育における教師の役割③ 教材研究
[12] 道徳教育の実践① 指導案の作成
[13] 道徳教育の実践② 模擬授業の実施
[14] 道徳教育の実践③ 模擬授業の振り返り
[15] 試験とまとめ